

『早稲田大学高等研究所紀要』刊行にあたって

早稲田大学高等研究所は、次代を担う若手研究者が充実した研究環境の下で一定期間研究活動に専念できる機関として、2006年9月に設立されました。本研究所は、文系・理系を問わない分野横断型である点と、早稲田大学内のいずれの学術院等にも属さない独立した機関である点で、極めて特徴的な研究所です。現在は、人文、社会、自然科学分野を合わせて30名近くの研究員が所属し、その柔軟な発想や能力・資質を十分に発揮した先進的な研究活動を展開しています。

本研究所は、これまで国内外の大学や研究機関等へ多くの若手研究者を送り出し、それぞれが各分野における第一線の研究者として活躍しています。また、大学内の兼任研究員を中心とした研究プロジェクトも推進しており、本紀要は現在所属する研究者だけでなく、研究所に関連するこうした多様な研究者たちが、広く研究成果を発信する場となっています。

本紀要の刊行にあたっては、より質の高い成果を確保するため、論文については学内外の複数の専門研究者による厳正な査読を課すとともに、必ず英文の要旨を付す等、学術誌としての水準の維持向上を図っています。また、冊子での刊行はもとより、内容を電子化して本研究所のホームページ等でも公開し、より広く閲覧の便に供しています。

21世紀の国際社会において、大学が果たすべき役割や責任はますます大きくなっています。その中で、早稲田大学はさらに研究教育の質を高め、優秀な人材を世界中から結集し、また育成・輩出できるような大学を目指しています。本研究所もその中核となって、大いに貢献できるよう努めているところです。

本紀要が、新進気鋭の研究者が切磋琢磨する研鑽の場であり、かつその成果を早稲田から世界に発信する場になれば、これに勝る喜びはありません。皆様のご指導とご支援を心よりお願い申し上げます。

2011年3月

早稲田大学高等研究所 所長
宮島 英昭